

新型コロナウイルス感染症について 知っていただきたいこと

新型コロナウイルス感染症とは

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ

けんたいかん
（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。

感染しても軽症であったり、治る例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。

特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

新型コロナウイルスはひまつ飛沫感染と接触感染により感染します。空気感染は起きていないと考えられていますが、閉鎖した空間・近距離での多人数の会話等には注意が必要です。

飛沫感染	感染者の飛沫（くしゃみ、 <small>せき</small> 咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

日常生活で気を付けること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

また、新型コロナウイルス感染症対策には、以上に加え「3つの密（密閉・密集・密接）」を避けることが大切です。

特に、持病がある方、ご高齢の方は、できるだけ人込みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

日頃から体温を測定する等、健康チェックを行いましょう。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、会社等を休んでください。

こんな方はご注意ください

次のいずれかに該当する方は「仙台市宮城県健康相談窓口（コールセンター）」にご相談ください。（電話番号 022-211-3883または022-211-2882）

◎ **息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合**

◎ **重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合**

（※）高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

◎ **上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合**

※症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。

※以上に該当しない場合のご相談も可能です。

※持病がある方は、事前に電話でかかりつけ医にご相談ください。

コールセンターでは、症状等を詳しくお聞きした上で、帰国者・接触者相談センターへおつなぎする場合と、一般の医療機関の受診等をご案内させて頂く場合があります。帰国者・接触者相談センターでは相談の結果、新型コロナウイルス感染症に感染している疑いがある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

（妊婦の方へ）

妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めにコールセンターにご相談ください。

（お子様をお持ちの方へ）

小児については、小児科医による診察が望ましく、コールセンターやかかりつけ小児医療機関に電話などでご相談ください。

お問い合わせ先

新型コロナウイルス感染症に関する健康相談は、次の窓口にご相談ください。

仙台市宮城県健康相談窓口（コールセンター）

電話番号 022-211-3883または022-211-2882

受付時間 24時間（土日・祝日も実施）

※聴覚に障害のある方等、電話でのご相談が難しい方はFAXをご利用いただけます。（FAX 022-211-3192）

※上記相談窓口への連絡時、通訳を必要とされる方は以下の通訳サポート電話をご利用いただけます。

仙台多文化共生センター「通訳サポート電話」

022-224-1919（9時から17時まで）

厚生労働省相談窓口

電話番号 0120-565653（フリーダイヤル）

受付時間 9:00～21:00（土日・祝日も実施）

※聴覚に障害のある方等、電話でのご相談が難しい方はFAXをご利用いただけます。（FAX 03-3595-2756）